

第2回生駒市総合計画審議会（全体会）

開催日時 平成28年9月30日（金） 13：30～

開催場所 生駒市役所 大会議室

出席者

（委員） 中川委員、久委員、森岡委員、永野委員、大原委員、梶井委員、中山委員、村上委員、楠下委員、幸元委員

（事務局） 坂本市長公室長、石畑市長公室次長、坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、高松政策企画推進係員

欠席者 加藤委員、中谷委員

議事内容

- 1 総合計画進行管理検証報告書について
- 2 市長公室長挨拶

【事務局】 開会宣告、配布資料確認
以下、発言要旨

【中川会長】 では皆様、よろしくおねがいしたい。最初に、総合計画進行管理検証報告書について、事務局からご説明をお願いしたい。

【事務局】 事務局説明

【中川会長】 次に検証を実際にやった上で、お気づきの点や検証方法改善に向けてのご意見等をそれぞれ各部会のご代表からご意見を賜りたい。

【久会長代理】 うち第2部会ということで、委員の皆さんの考えや進捗度の判断は行政と一緒に箇所が多く、予想していたより短時間で全てを終えることができた。ただ、例年ずっと審議をされていて、やはり指摘をすべきところは同じところを指摘させていただくということが増えてきた。そこは、大きく言えば課題であり、それをどうクリアしていくかというところが

重要かなと思う。1つ具体的に言うと、No. 511の学研都市のところで、奈良先端科学大学院大学とどのように連携していくかという話をしたのだが、研究がかなり先端的で地域に貢献するというような内容が非常に少ないため、交流はなかなか本格的にはできないという課題がある。総体的に進捗度が高いのは環境である。もともと生駒は環境がいいというベースがあるので、そこがストレートに進捗度の高さに表れているが、一方で、土地利用については住民との問題もあるので、ここはいわゆる協働という形でどこまでやれるのかというところがポイントかなと思っている。成果指標の中で達成していない項目というのは市民の方々も動いてもらわないと今後数値が上がってこないところである。行政側は頑張っていたらいい。一方で、市民の皆様も頑張っていたらいい。いけないところに、行政がどう働きかけていくかというところでは、まだ課題が残っているのかなという印象がある。第二部会からは以上である。

【中川会長】 続いて、第3部会は幸元部会長代理にお願いしたい。

【幸元委員】 生涯学習、自主学習のところで、自主学習グループの学習会の指標はやはり累計で出してしまうと、新規の数がどの程度、広がりを見せているかの把握がちょっと困難だったかなということをもっと一番に思った。また市民と共に協働と言いつつも、行政が市民をリードしていただかないとなかなか動きにくい活動等もあると思う。審議会の中ではやはり担当課の方がお見えいただけないということで、事前に紙ベースでの質問票を提出させてはいただいたが、さらに深く質問ができなかったところ、私は残念だったと感じた。

【中川会長】 ありがとうございます。第1部会については森岡委員、いかがでしょうか。

【森岡委員】 進捗度について言えば、特に大きな問題はなかったとは思いますが、これからの取り組みとして、やはり各担当課自身の、総合計画に対する取り組み方を深めていくということが大事だと感じている。

【中川会長】 環境やハードに関することは行政が頑張ってくださっているんだということ、市民は分かっているようだが、ソフト事業、参画協働というものについてはなかなか取組が進んでいない印象がある。これは謙虚に受け

とめていただきたい。まだご発言いただけてない委員の皆様も、何かご発言いただければと思うがいかがだろうか。

【永野委員】 いろいろ行政が頑張っているところがあるのに、進捗度が低くなっている項目があったので、評価の仕方も難しいと感じた。

【楠下委員】 各部門ともしっかりやっておられるなという印象であるが、指標の達成率が130のうち81が○ということで、62.3%となっているが、これが低いのか高いのかは判断が難しい。しかし、×の項目に関しても、今後の対策を考えていただいているし、審議会でも、それぞれ皆さん方のご意見がまとめられていると感じているので、ぜひ、次期展開にこれをご活用していただいて、半年後、1年後に○になるように活動していただきたいと思う。

【村上委員】 生駒市はやはり子育てとか老後のことを考えて、ちゃんと計画を立ててやってくださっているので、これからも計画的に施策を進めていっていただきたい。

【中山委員】 ごみに関して、環境の担当課をはじめ、皆さん非常に熱心に取り組んでくださっているので、満足している。

【梶井委員】 部会の進行について、質問票があったおかげで時間どおりにスムーズに、審議が円滑にできたと感じている、しかし、そこからまたさらに突っ込んだお話というのがもう少しできればよかったかなと思います。次回以降に改善していただければと思う。

【中川会長】 他にご意見あるだろうか。

【久会長代理】 成果のアピール、PRという点で申し上げるが、例えば水のきれいさで言えば、水は確かに昔と比べてきれいになっているけれども、市民は20年前のイメージをまだ持っていて、まだ水がきれいじゃないと思っ込んでしまっている。そのイメージが市民の実感度等に反映してしまっているところがあるのではないと思う。つまり、成果が出ていますよ、やっていますよということを市民に上手にアピールしない限り、実感度は上がってこないということになる。広報広聴の担当だけではなく、全ての部署が、取り組みの結果として成果が出ていることをもっと市民にPRしていく。ここを頑張っていれば、実感度はもう少し

上がってくるんじゃないかなと思う。

【中川会長】 ありがとうございます。皆様、非常に的確なご指摘かと思う、ぜひ行政にはご留意いただきたい。内容について修正の意見が出ていないが、よろしいだろうか。それでは、平成27年度の総合計画の進行管理については、皆様お手持ちの資料をもって、本審議会としての答申とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(異議なし)

【事務局】 ただいま答申書が確定したので、資料2の答申書のとおり、審議会からの答申として受け取らせていただく。今回で、今年度開催を予定していた会議については全て終了となる。審議会委員の皆様の任期は去年の6月から2年間ということをお願いしていたので、今の予定では、任期中で予定している会議は本日が最後となる。閉会にあたり、最後に、市長公室長の坂本からご挨拶を申し上げます。

【坂本市長公室長】 公室長挨拶

【事務局】 それでは、本日は、ご審議いただき、まことにありがとうございました。今後も後期基本計画に沿って行政運営を進めていくとともに、引き続き、後期基本計画の進行管理を行い、次の第6次総合計画の策定につなげていきたいと考えている。今後とも生駒市行政にご協力賜りますよう、よろしくお願ひしたい。

閉会宣告

— 了 —